

おしゃべりカフェ まとめ



日時：令和4年8月26日(金)
午後1時30分～午後3時00分

アンケート集計結果

1. 本日のおしゃべりカフェの感想について

・大変よかった **14** ・よかった **6** ・ふつう **0** ・期待はずれ **0**

- ・話を聞いてもらえてすごく幸せでした。
- ・大切にしなければいけないものをたくさん教えていただいた。
- ・お互いの活動の情報交換ができた。
- ・楽しいおしゃべりの場になりました。
- ・違った人達の意見を聞いた。
- ・活動の種類が多いのに感銘を受けました。元気で意欲のある町民であり続けましょう
- ・ボランティアメンバーの気持ちが聞いてよかったです。

2. 今後もこのようなボランティアの情報交換の場があった方が良いと思いますか？

・あった方が良い **19** ・気が向いたら参加する **0** ・なくても良い **0**
・未回答 **1**

3. どれくらいの頻度で情報交換の場があった方が良いと思いますか？

・年に1回 **5** ・半年に1回 **12** ・4か月に1回 **3**
・なくてもよい **0**

4. 気づいたことや今後に生かしたいことがあれば、ご記入ください

- ・ボランティアの活動の場をつくってもらいたい。
- ・みんなはすごい。気持ちが明るい。体力が大事！
- ・お互いの情報交換ができる。ボランティアは楽しくないとできない。
- ・ボランティア同士が気軽に集まれる場がほしい。
- ・楽しむこと、つなげることを大事にしていきたいと思いました。

○ボランティア活動をしていて嬉しかったこと、よかったこと

- ・赤ちゃんからご老人まで誰とでもかかわることができます。作品だけの時もありますが、続けていける様にしたいです。
- ・一人暮らしのお宅を訪問するのですが、一声かけることに大変喜んでいただくことが続けてきて良かったと思えること。
- ・嬉しかったことは、昨年同様今年も元気に毎日を過ごしていらっしゃる一人暮らしの方々に会えることです。
- ・最近声をかけて下さる方が増えてきました。嬉しく思います。
- ・直接顔を合わせることはないが、とても喜んでくださっていると知り、描いていて楽しい。
- ・ボランティアを通して、家族の会話が増えた。いつも施設入所者へ送る絵手紙を、孫に見てもらい絵について話をしている。
- ・他人の手助けをするのは、大変なことです。我が身に置き換えて助けてあげられることはなるべく手伝います。
- ・楽しかった、元気がもたらされた等の言葉をもらった時。また、「次も来てネ」とか「こんどいつ」など言ってもらった時。
- ・仲間との交流が楽しい。子供達（乳幼児、小1～小6）に読み聞かせを通し未来のある子供達の姿の成長を感じて、やりがいを感じます。
- ・踊りを通じて施設の方々の笑顔が見れたこと
- ・“ありがとうの言葉”
- ・昔なつかしい盆踊りの時は手だけでも動かし参加していただけます。
- ・人との話の中で私の知らない（知らなかった親世代の）話を聞いたこと。
- ・地域の方とのコミュニケーションが多くとれるようになりました。
- ・お知り合いの方が増えることで楽しみや色々な知恵がいっぱい。
- ・色々な活動が自分の為に生きています。日々楽しいです。
- ・楽しい仲間が増えたこと。
- ・地域でつながりができた。
- ・自分自身が社会参加することによって健康になりました。
- ・自分では行けない所、参加出来ない所へ行けて種々な社会が見れた非常に参考になり楽しかったこと。
- ・色々な方々と知り合えたこと。
- ・知らない世界の勉強ができたこと。
- ・特にこれはボランティアですという感覚なく、携わっています。楽しく日々過ごしています。
- ・ボランティア活動であさひ総合病院にて薬草園を作り、草むしりや水やりをしていて、日光を浴びて楽しくしています。朝早く行くので、朝日が昇ってきてとても気分が良いです。
- ・対象者の喜ばれた様子を聞き、自分たちの活動がよかったと納得した時。
- ・技術の上達がみられた時
- ・スタッフ同士のつながりが深まった。
- ・ありがとう、また来ましたという言葉。
- ・自分たちが想像していた以上に必要としている人がいるということに気づけたこと。

- ・立場も環境も違う色々な人がいる。
- ・通訳のボランティアをした際、中国から来た高校生の喜んだ笑顔が忘れられない。
- ・人とのふれあうことが大好きな人間ですので、いつも新しい情報を提供できること。
- ・ボランティア活動をすることによって人と話せて、動くことができる。
- ・ここ3年間、ボランティア活動はできていなかった。以前は、年に10～15回程施設に訪問し民舞を披露していた。なかなか活動できず困っていた昨年、おしゃべりカフェで知り合ったボランティア活動者に紹介を受け、少し施設での活動ができるようになったことがよかった。
- ・人との出会いがある。人とのふれあい！人との付き合い方を学べる！
- ・いろいろな情報を得られる。
- ・介護経験などを活かした地域医療の担い手と喜び。
- ・各グループの連携。
- ・活動にしぼりがあまり無いからこそ自由に活動できる。
- ・「活動先」があること。待っている人がいる。役割があること。
- ・メンバーと共に歩む喜び。メンバーとの絆。
- ・「仲間」がいる喜び。
- ・関わる人の人生の歴史を学べる。
- ・声を掛ける、掛けられること。
- ・「近所」だからこそのご縁。だからこそ大切に。でも特別扱いしない。
- ・“ボランティアをしている”つもりはない。逆に、ボランティアをしてもらっている。アイデアをもらっている。

グループワークで挙げた意見！次に向けての課題！

- ・ボランティアがいつでも集まれる場所がほしい。
- ・ボランティア同士のつながり（他のボランティアに参加知ることができた）。
- ・コーディネートしてほしい（広報を含む）。
- ・みら〜れTVにボランティア団体出演。
- ・コロナ禍で活動ができず、民舞などの伝統芸能が…。
- ・コロナ禍で練習場所も制限されて、なかなか練習ができない。
- ・同じ活動をされている方がいないので、活動のことで悩んだり決めることが難しいことがある。
- ・目標がないと活動を続けられないため、活動の場を提供して欲しい。
- ・各ボランティアグループでは、どのような広報をしているか。
- ・形に残るものがないから反応がない。
- ・子どもへの対応が難しい。

まとめ

今回、各グループで話し合いをしましたが、ボランティア活動者の方々は、「ボランティアは楽しくなくては！」という共通の想いをもって活動されていることが分かりました。また、この意見をボランティアセンターで活かせるようにコーディネーターとして活動しています。